

動物実験に関する現況調査票

昭和大学

平成 22 年 6 月

I. 動物実験に関する組織

機関長	職名 学長	氏名 細山田 明義
事務担当者	職名 総務部総務課係長	氏名 及川 亮
同 連絡先	TEL 03-3784-8011	FAX 03-3784-8012 e-mail ryoz@ofc.showa-u.ac.jp
動物実験委員会 委員長	職名 医学部	教授 氏名 塩田 清二
同 委員	職名 医学部	教授 氏名 諸星 利男
同 委員	職名 医学部	教授 氏名 大塚 成人
同 委員	職名 医学部（臨床）	教授 氏名 秋澤 忠男
同 委員	職名 医学部（臨床）	教授 氏名 土岐 彰
同 委員	職名 医学部（臨床）	教授 氏名 吉村 吾志夫
同 委員	職名 歯学部	教授 氏名 山田 庄司
同 委員	職名 歯学部（臨床）	教授 氏名 新谷 悟
同 委員	職名 薬学部	教授 氏名 吉田 武美
同 委員	職名 薬学部	教授 氏名 本田 一男
同 委員	職名 保健医療学部	教授 氏名 浅野 和仁
同 委員	職名 保健医療学部	教授 氏名 石野 徳子
同 委員	職名 教育部	教授 氏名 倉田 知光
同 委員	職名 共同施設	准教授 氏名 荒田 悟

委員の数に応じて、表の行を増やしてください。

II. 機関における動物実験の概要

1. 動物実験を行う主たる研究分野

- 医歯薬学分野
 畜産・獣医学分野
 生物科学分野
 理工学分野
 その他（ ）

2. 年度ごとに使用した実験動物の種類と概数

動物種	概 数				
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
マウス	9,094	7,656	9,181	12,459	12,280
ラット	2,623	3,635	2,886	2,661	3,125
ウサギ	135	107	42	36	19
モルモット	146	137	130	95	67
スナネズミ	0	90	288	411	35
イヌ	2	13	12	0	0

動物種の数に応じて、表の行を増やしてください。

3. 年度ごとの承認された動物実験計画数

動物実験計画数	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	363件	367件	357件	360件	404件

4. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練受講者数	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	97人	103人	129人	135人	281人

5. 実験動物飼養保管施設の現況

施設の名称	管理者の職・氏名	実験動物管理者の職・氏名(関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養頭数(概数)
昭和大学動物実験施設	教授・塩田清二	准教授・荒田 悟 (施設管理年数7年)	マウス	9,500
			ラット	1,800
			ウサギ	80
			モルモット	200
			イヌ	12

飼養保管施設の数に応じて、表の行を増やしてください。

6. 特記事項

(動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情)

昭和大学は、医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部からなる医系総合大学である。全学部の動物実験における計画書の審査、実験の把握、終了報告書の管理などは、本学の動物実験委員会が学長の諮問を受けて一括して担当している。また、動物実験施設は旗の台キャンパスと藤ヶ丘病院にあるが、本年9月より藤ヶ丘施設の利用を終了するため、旗の台施設で全学部のほぼすべての動物実験が行われることになる。このように、基礎研究室および臨床研究室の集中する旗の台キャンパスにおいて、単一の委員会のもと単一の施設で動物実験は行われる。その長所としては、大学全体として動物実験に対する管理、把握、及び教育活動は比較的行い易いこと、実験者同士の情報交換が盛んなこと、および、各学部、及び富士吉田教育部から専門性の異なる委員を選出できることなどがある。短所としては、計画書の審査件数が毎年400件程度と膨大になること、また、動物実験が多種多様であり十分な実験スペースの確保が難しいところがある。